

「平和祈念事業」の実施報告について

- 1 日時 2024年8月6日(火)～8月10日(土)
- 2 会場 生涯学習センター6階・7階
- 3 参加者数 550名(2023年度474名、2022年度452名)

4 実施概要

戦後79年が経過し、原爆や空襲を受けたことのある方々は高齢化し、その体験を語り継ぐことが年々難しくなっている中で、当時を知る方から直接話を聞くという貴重な機会をつくることができました。

また、市民団体の協力を得て、紙芝居や朗読劇の形で戦争体験の継承を行うとともに、大学生が朗読に参加してもらうことで、若者にも戦争について考える機会となりました。

今年度は、現在起きている戦争や紛争についても考えるきっかけとして、ウクライナの子どもたちが描いた絵を含む展示企画「世界の子どもたちが見た平和と戦争展」も実施しました。

あわせて、芸術鑑賞を通じて戦争と平和について考える「美術と音楽にみる戦争」も行いました。

参加者からは、「原爆投下の後の広島の様子がよくわかりました。特に被爆者の方の話を聞くと実際にどんなこと起こったかよくわかりました。」「美術や音楽が戦争にどのように影響を受けたのか考えさせられた。様々な美術作品に描かれる戦争表現に改めて驚いた。お話も含めて平和と音楽を考えるよき機会となった。」などの感想が寄せられています。

5 実施イベント

イベント名	来場者数
①語り継ぐ広島原爆被爆体験「被爆体験を語り継ぐ、受け継ぐということ」	32
②子ども向け 原爆のおはなし&紙芝居&アニメ	57
③プロ棋士から学ぼう！はじめての親子将棋教室	21
④語り継ぐ長崎原爆被爆体験&朗読劇	35
⑤子ども向け シリア料理を作って文化を学ぼう	16
⑥美術と音楽にみる戦争(第1部:美術家たちの戦争 第2部:戦争と音楽一音が現してきたもの)	58
⑦世界の子どもたちが見た平和と戦争展	201
⑧戦時資料展・被爆体験 DVD 視聴コーナー・昔遊びコーナー	130
⑨平和の絵手紙、一枚のハガキ、サダコと折り鶴ポスター展	—

6 報道

8月7日の東京新聞・多摩武蔵野版に「世界の子どもたちが見た平和と戦争展」に関する記事が掲載されたほか、読売新聞、ショッパー、タウンニュースに掲載されました。

7 当日の様子

① 語り継ぐ広島原爆被爆体験



② 原爆のおはなし&紙芝居&アニメ



③ プロ棋士から学ぼう！はじめての親子将棋教室



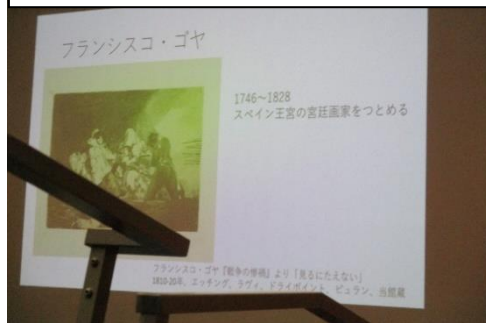
④ 語り継ぐ長崎原爆被爆体験&朗読劇



⑤ シリア料理を作って文化を学ぼう



⑥ 美術と音楽にみる戦争



⑦ 世界の子どもたちが見た平和と戦争



⑧ 一枚のハガキ展

